

船舶事故調査報告書

平成22年2月4日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年4月16日 07時30分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（三重県鵜殿港南防波堤灯台から真方位205° 1,500m付近（概位 北緯33° 43.4′ 東経136° 01.0′）で、本船及び船長が発見された。）
事故調査の経過	平成21年4月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート やす丸、1.2トン 252-14372和歌山、個人所有 7.36m(Lr)、B及びDは不明、FRP ガソリン機関、84kW、進水年月日不明
乗組員等に関する情報	船長 男性 63歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成15年10月24日 免許証交付日 平成19年10月24日 (平成25年10月23日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年4月16日07時00分ごろ、船長1人が乗り組み、勤務先の建設会社が請け負った熊野川河口左岸の護岸工事の様子を見る目的で、和歌山県三輪崎漁港を出港し、熊野川河口付近に向かった。 07時30分ごろ、三重県鵜殿港から漁場に向けて航行中の漁船（1人乗り組み）が、熊野川河口付近で転覆している本船を発見し、鵜殿港に引き返して捜索要員を乗せ、熊野川河口付近に戻って捜索を開始したところ、07時45分ごろ救命胴衣を着用してうつ伏せの状態海面に浮いていた船長を発見し、救助して鵜殿港に運んだ。 船長は、意識がなく、呼吸もしていない状態で病院に搬送され、08時41分死亡が確認された。 船長の死因は、溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 2、気温 約17℃、水温 約18℃ 海象：波高 約1.5m、潮汐 ほぼ高潮時
その他の事項	熊野川河口付近は、熊野灘に流れ込む熊野川の流れと沖から寄せる波浪

	とがぶつかって三角波が生じやすい水域であった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は、溺死であった。 船長は、落水したことにより溺死した可能性があると考えられるが、落水した状況については、明らかにすることができなかった。 本船は、熊野川河口付近において、波浪の影響を受けて転覆した可能性があると考えられるが、目撃者がいないことから、転覆の原因を明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が熊野川河口付近を航行中、船長が落水したため発生した可能性があると考えられる。	